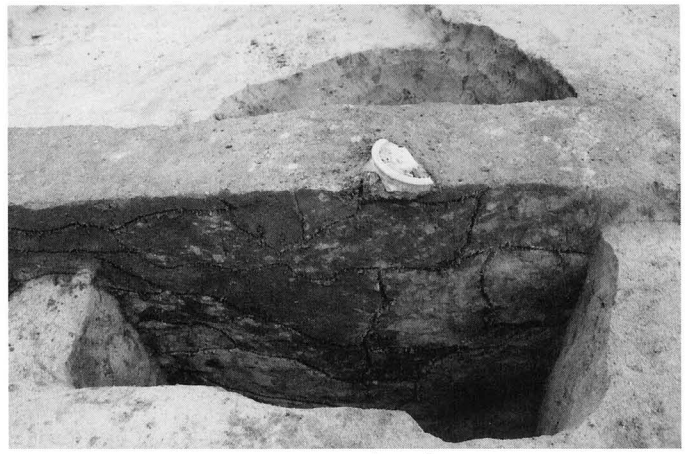
1．遺構検出状況（B区、北から）

2．基本層序

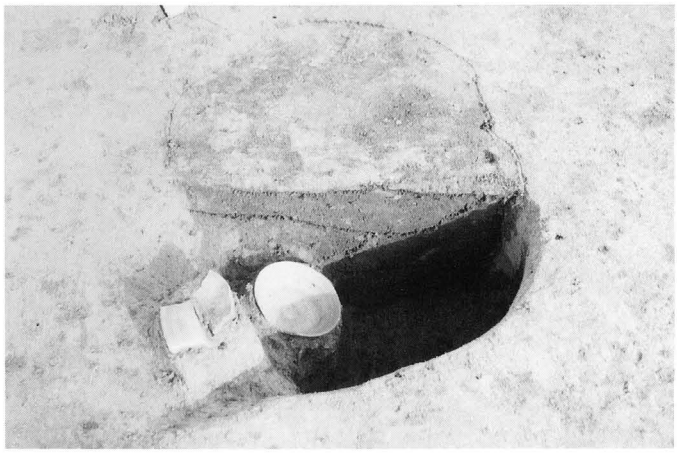
3．SD08遺物出土状況



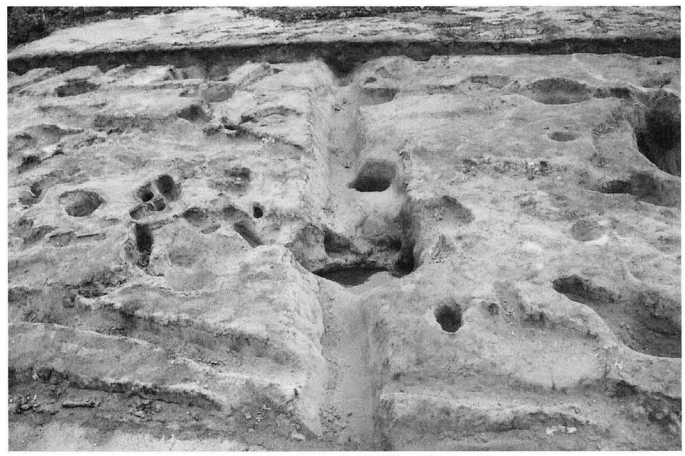
4．SB14（P31）

5．SE05

6．SE01

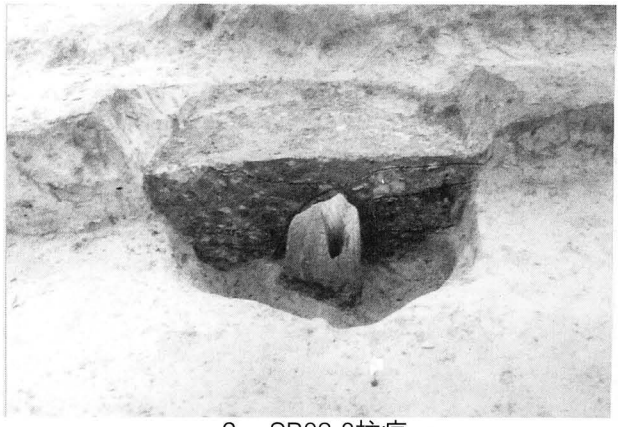


7．柱穴（P34）



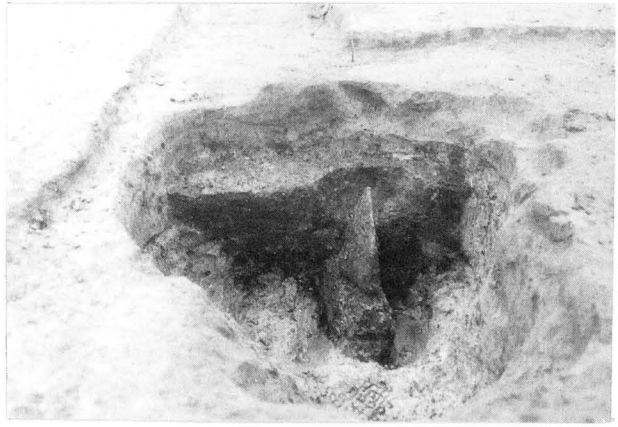
8．SD30（A区）南から

1．SB03（手前）、SB09・10（奥）完掘状況（北から）

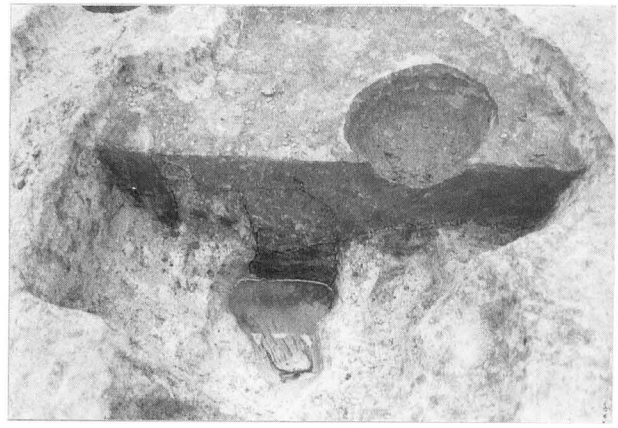


2．SB02-8柱痕

3．同－9柱痕



4．同柱痕



5．同礎板

1．SB11、SE08・09、SD42・43完掘状況

2．SE09掘方の状況

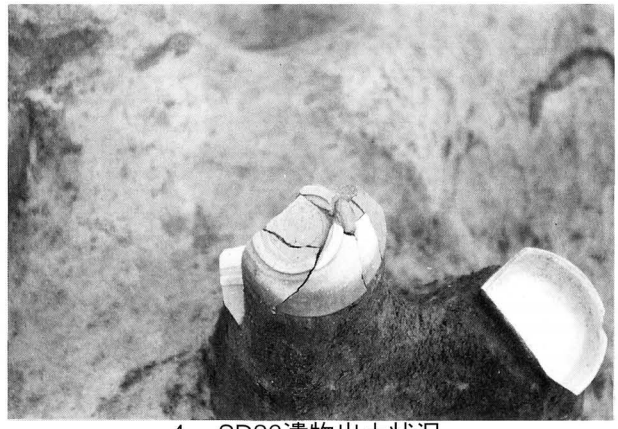
1．SE09井戸枠の状況

2．SD33構築状況

1．SD26遺物出土状況

2．SD26遺物出土状況

3．SD26遺物出土状況

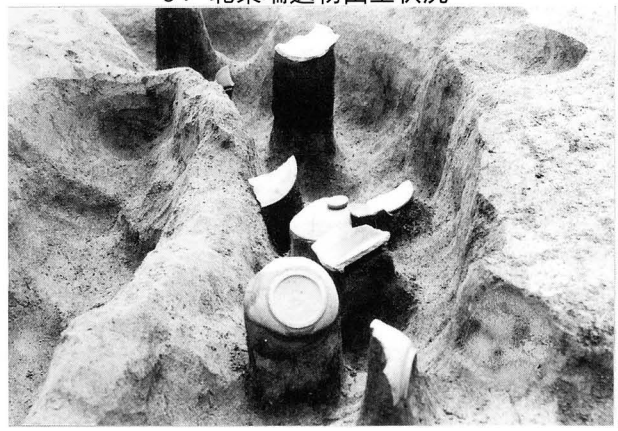


4．SD26遺物出土状況

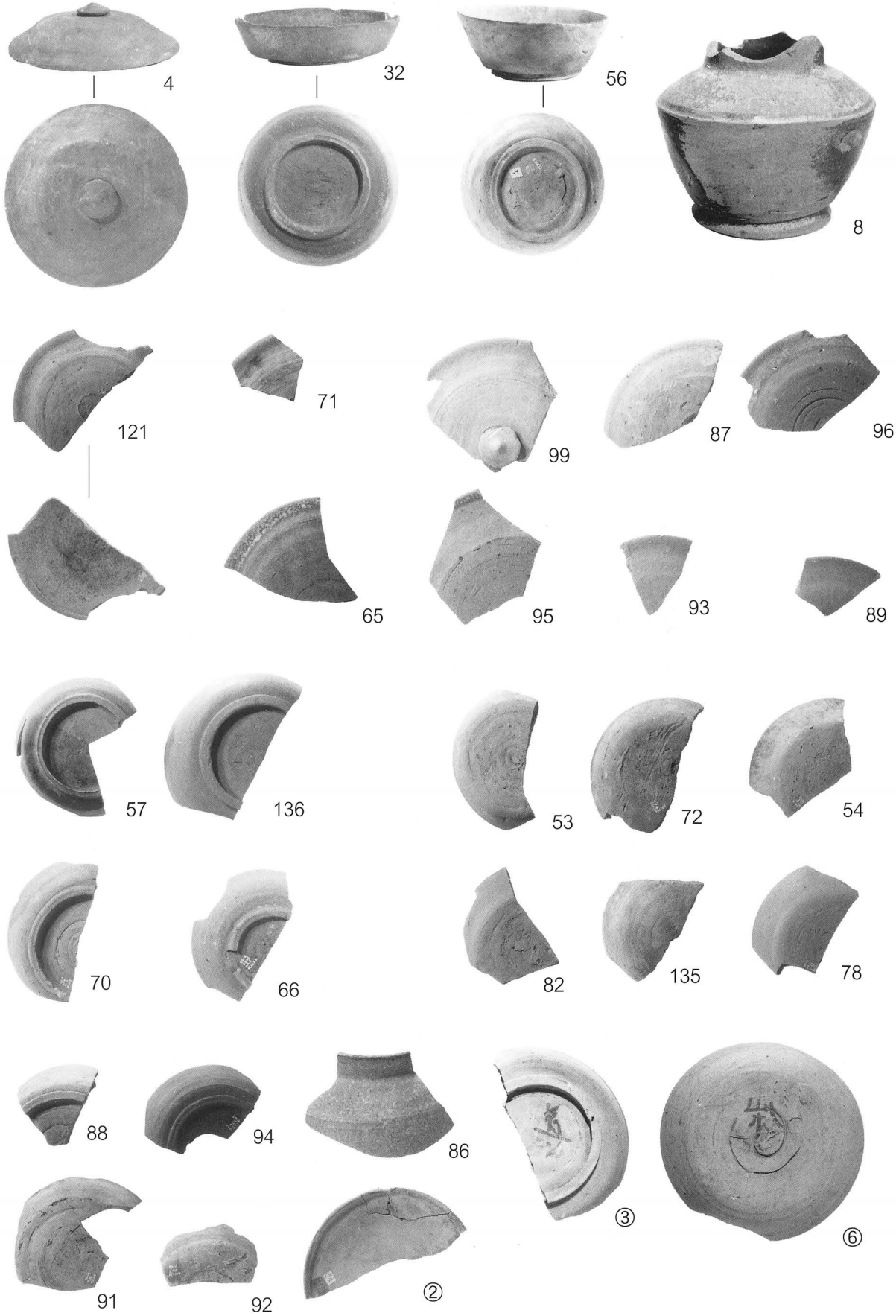
5．北東端遺物出土状況

6．北東端遺物出土状況

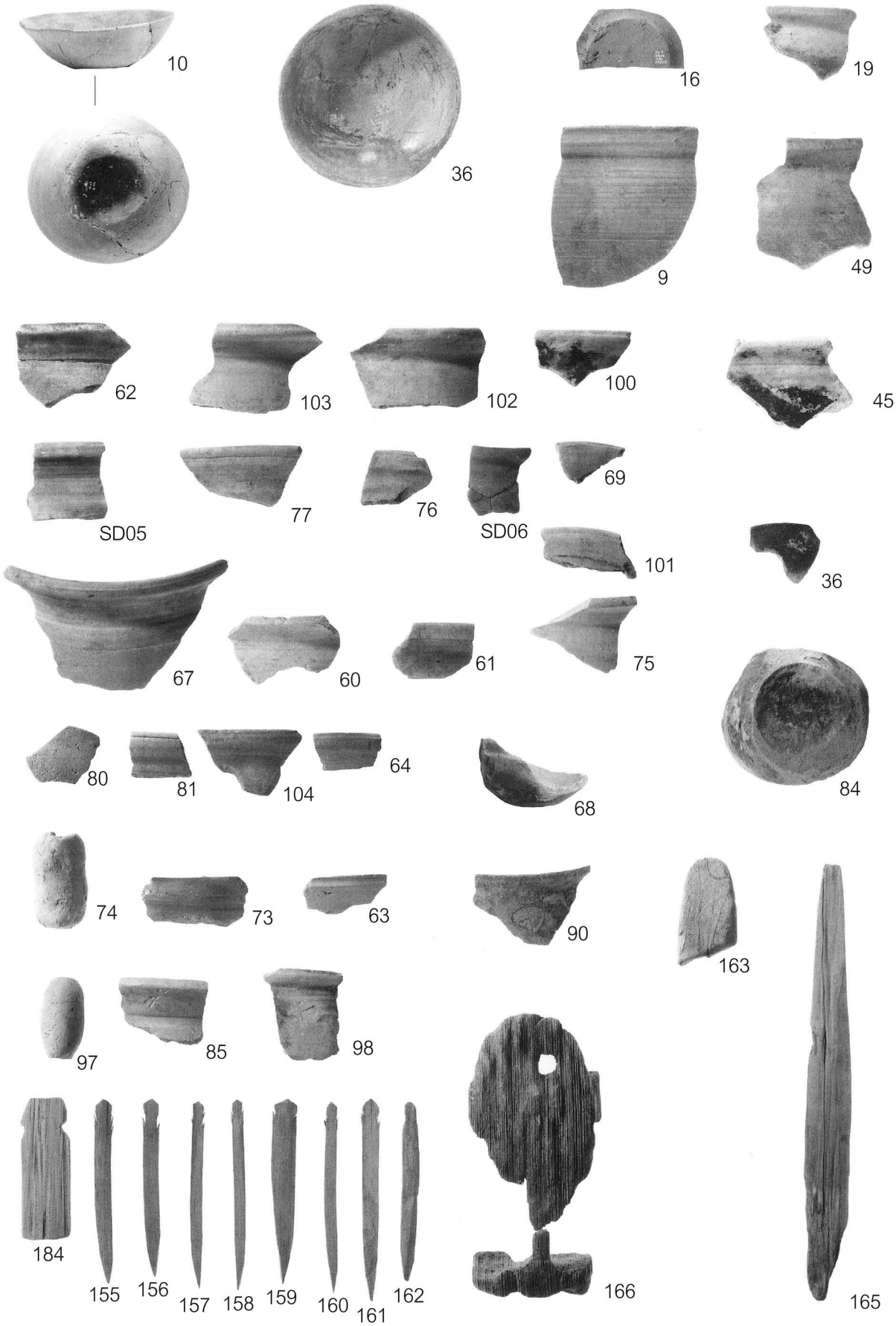
7．北東端遺物出土状況



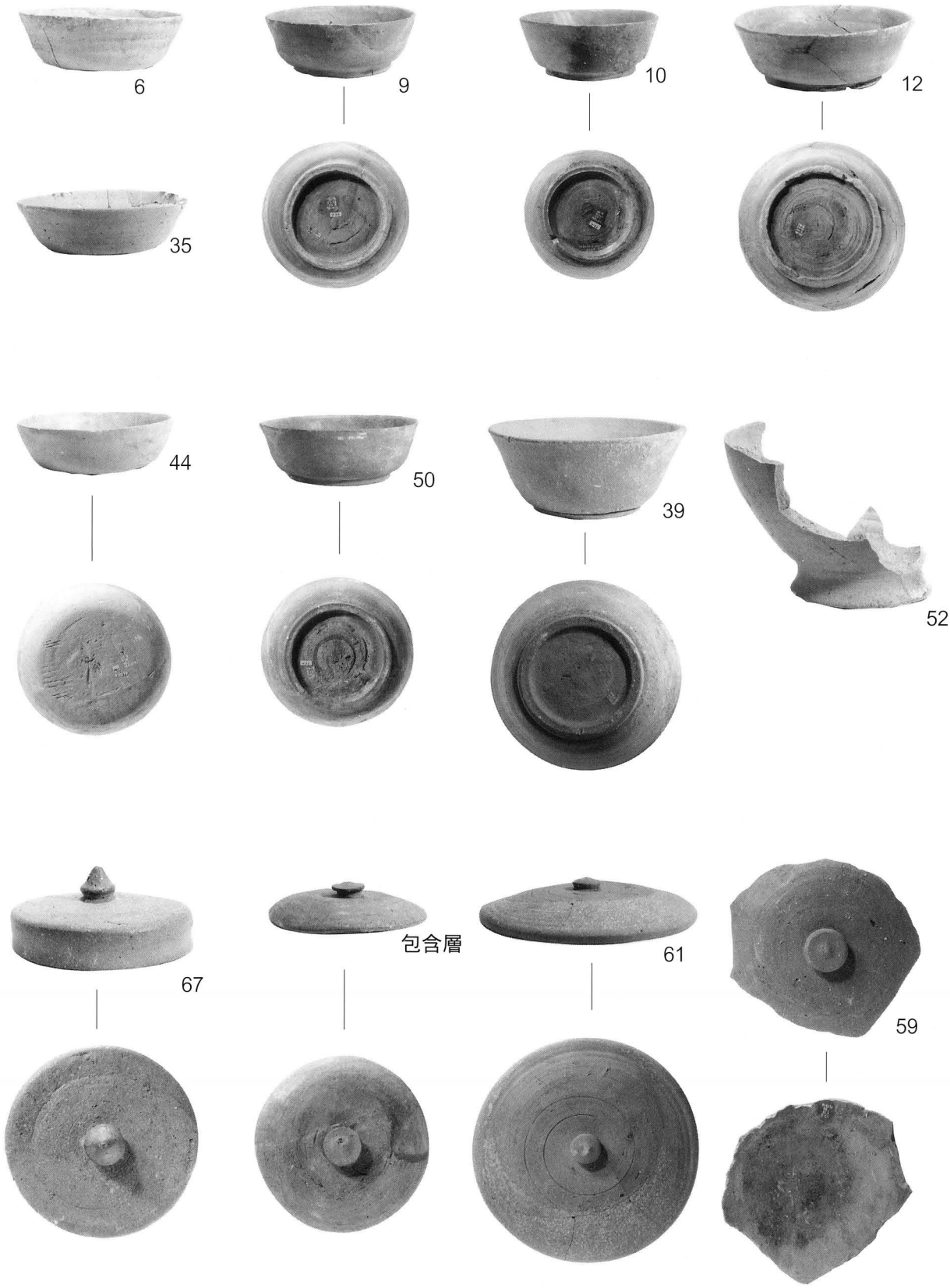
8．北東端遺物出土状況



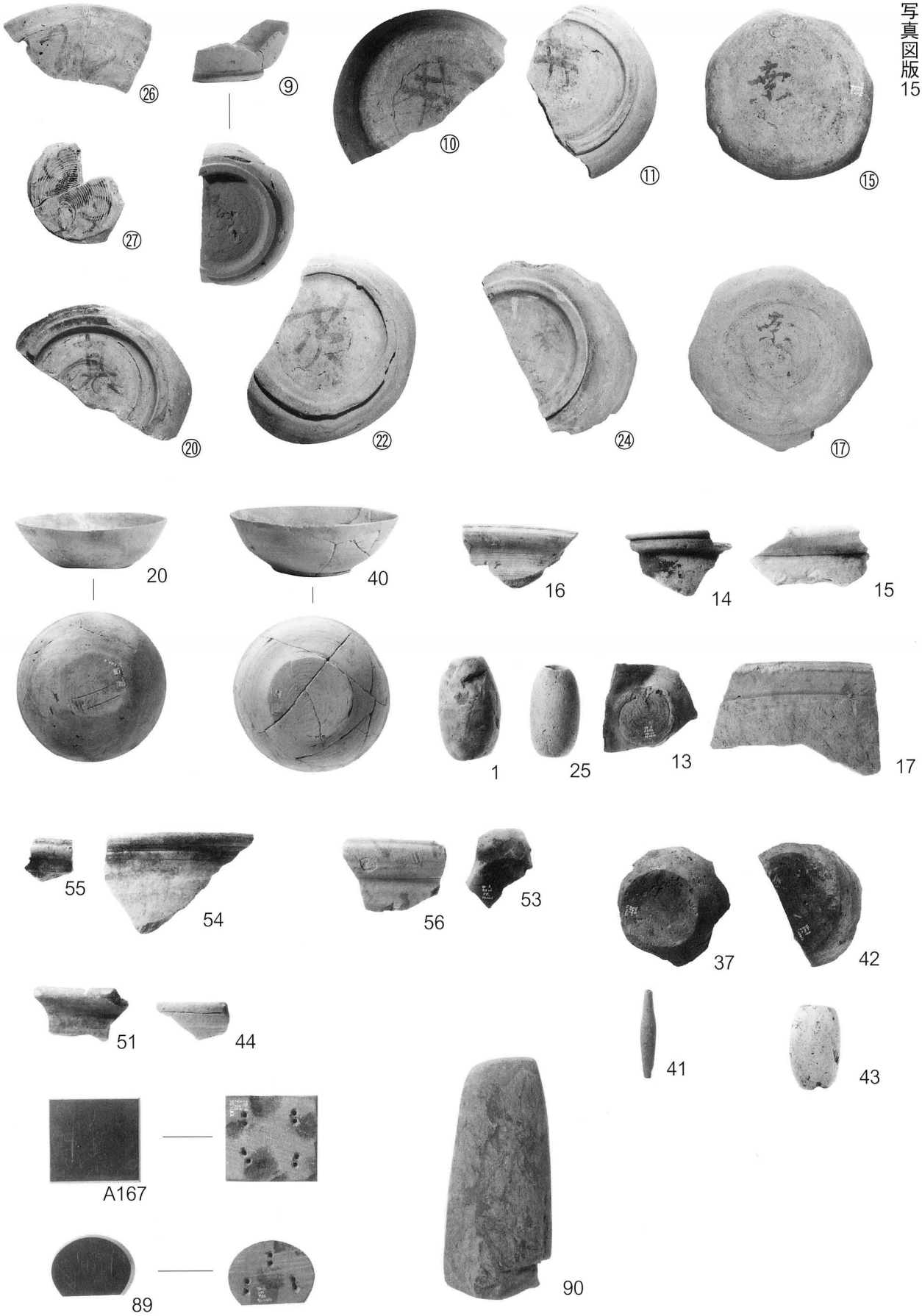
A区出土遺物（③、⑥は1／3、他は1／4）○印数字は墨書土器


10
36
16
19
9
49
62
103
102
100
45
SD05
77
76
SD06
69
101
36
67
60
61
75
80
81
104
64
68
84
74
73
63
90
163
97
85
98
184
155
156
157
158
159
160
161
162
166
165

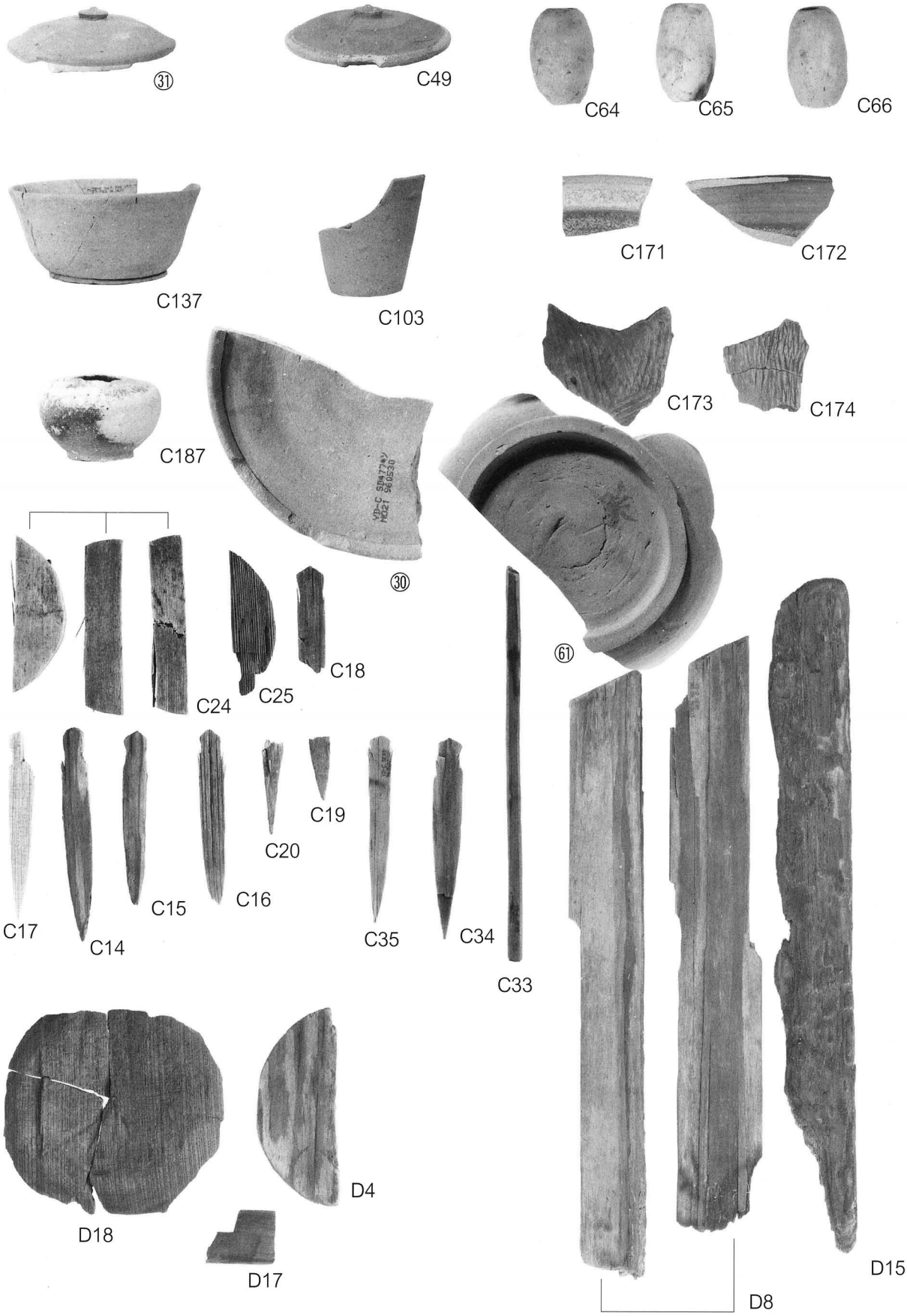
A区出土遺物（S＝1／4）



B区出土遺物（S＝1／4）



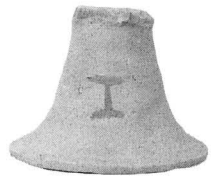
B区（一部A区）出土遺物（167、89、90は1／2、墨書土器は1／3、他は1／4）

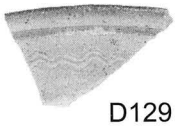


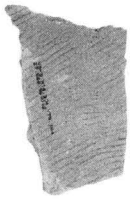
C・D区　出土遺物（○印数字は墨書）

D24

D26


118


D129

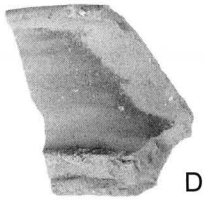

D133

D151

D160

D161

D162


D131

105

D158

D156

D157

E3

E12

141

E74

E135

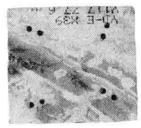
140

E69

E81

E80

E97


E104

E98

E99

E100

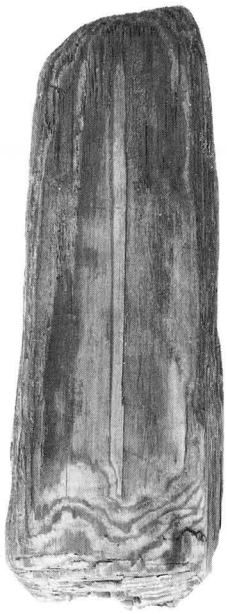
E101

E102

E103

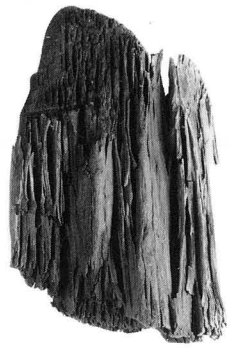
143

D・E区　出土遺物

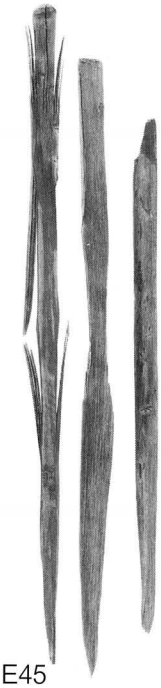


E6

E26



E23



E45 E46 E47

E35

E36

E43

E37

E41

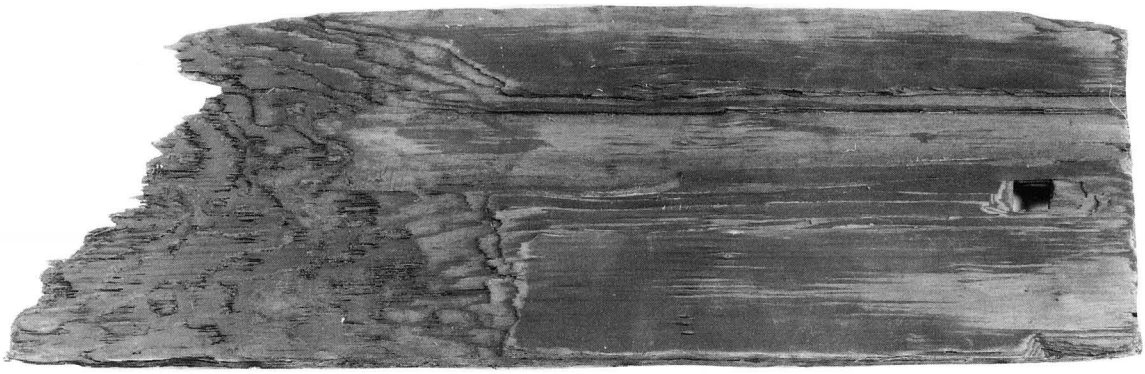
E40

E42

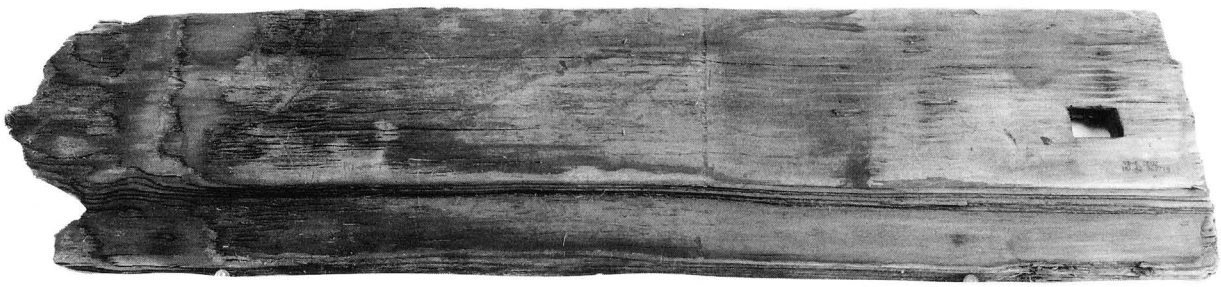
E44

E38

E39



E49



E50

E区　出土遺物

報　告　書　抄　録

ふりがな	とやましよねだだいかくいせきはっくつちょうさほうこくしょ
書　　名	富山市米田大覚遺跡発掘調査報告書
シ リ ー ズ 名	富山市埋蔵文化財調査報告
シ リ ー ズ 番 号	9
編 著 者 名	鹿島昌也　松田政基
編 集 機 関	富山市教育委員会　富山市埋蔵文化財センター
所 在 地	〒930－0091　富山県富山市愛宕町１－２－２４　TEL　０７６－４４２－４２４６
発 行 年 月 日	平成１８（２００６）年3月２０日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 ′°″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
よねだだいかくいせき 米田大覚遺跡	とやましよねだまち 富山市米田町1丁目	162019	201021	36度 44分 10秒	137度 14分 40秒	19951110 ～19960731	4,600	分譲宅地造成工事

所収遺跡名	種　別	主な時代	主な遺構	主　な　遺　物
米田大覚遺跡	官衙・ 集落跡	奈良～ 平安時代	掘立柱建物、 井戸、土坑、 溝、道路 ピット	須恵器、土師器、土製品(土錘、メンコ(駒・碁石)、獣脚)、木製品（付札状木製品・刀形木製品・斉串・箸・曲物・皿・下駄・井戸枠・柱根・礎板）、墨書土器、風字硯、陶製枡、転用硯、緑釉陶器、灰釉陶器、石製品（石帯・砥石・碁石）、ガラス小玉、磨製石斧、縄文土器片、弥生土器、青磁、中世土師器、肥前、越中瀬戸、鉄製品

要　約	掘立柱建物が32棟検出され、整然とした配列を示す。建物は凡そ４群に分けられ、南端の１群には５×４間（廂付き）建物を核として10間×２間の長舎建物などがＬ字形に並び、古代郡衙施設の郡庁域と推定される。その北側にも道路遺構を隔てて東西方向に整然と棟方向を揃えて検出され、「館」や「厨家」の存在が考えられる。 建物群は３時期以上の変遷が推測され、９世紀中頃の時期を中心にした、越中国新川郡衙（郡家）に関連する遺構群と推測される。 208点の墨書土器や石帯、縁釉陶器、風字硯など官衙的な遺物も多く出土した。

富山市埋蔵文化財調査報告書（9）

富山市米田大覚遺跡発掘調査報告書

発行日　平成１８（２００６）年3月２０日
発　行　富山市教育委員会
編　集　富山市教育委員会埋蔵文化財センター
〒930-0091
富山市愛宕町1－2－24
TEL076-442-4246　Fax076-442-5810
E-mail：maizoubunka-01@city.toyama.lg.jp
印　刷　株式会社　富士印刷